

## 大地間の電位差

落雷した所と離れた所では必ず、大地間に電位差が生じます。夏は雷雲より、冬は大地よりエネルギーが放出され、どちらの電位が高いか低いかは状況により異なりますが、いずれにしても雷雲と大地との間でエネルギー交換があり電位の上昇した方から電子機器侵入して遠地の低い方に流れ込む回路ができます。その間の電子機器の耐電圧が侵入したサージ電圧に対し、どの程度まで対応できるかが問題となります。

- 対策と条件:
1. 機器の回路と筐体の絶縁耐圧が高いこと。
  2. 機器の入出力のサージ耐電圧が高いこと。
  3. 避雷針アースや高圧電力アースと接地共用しないで、できる限り離して接地すること。

